

# 第7回 気仙沼市新庁舎建設基本構想策定有識者会議

## 議 事 要 旨

### 報告事項

(1) 第6回有識者会議の議事要旨とその対応について【報告1】

- ・ 内容は配布資料のとおりであり，説明は省略した。

### 議事要旨

(1) 会議の公開・非公開・議事録の作成について

- ・ 本会議及び議事録については，市情報公開条例に基づき公開とすることです承を得た。
- ・ 第7回有識者会議の議事録については，丸谷委員長と峯浦副委員長の署名とする。

次ページに続く

(2) 建設候補地案の選定について

■候補地の比較評価について

カテゴリ	No	意見等	市当局より
自動車（バイク含む）でのアクセス（道路ネットワーク、到達時間について）	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>候補地の比較評価一覧表の「自動車（バイク含む）でのアクセス（道路ネットワーク、到達時間について）」について、現位置の（仮）気仙沼港 IC からの所要時間が変わったのはなぜか。（丸谷委員長）</li> </ul>	数字の計測の誤りでした。
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>現位置は、北方面と南方面の両方とも9分になった。旧市立病院は、南方面は9分で北方面は14分かかる。このままだと、前回の旧市立病院〇、現位置△の部分をもう一回見直さなければいけない。</li> <li>三陸道利用圏外の方は、旧市立病院のほうが優位だということはデータでいただいた。</li> <li>どのように説明すれば、旧市立病院〇、現位置△となると考えられるのか。（丸谷委員長）</li> </ul>	<p>一つは、北方面から三陸道を使って来る方は、人口的には少ないというところですが、本来であれば、先ほどの資料の所要時間の分析をメッシュでやった際に、全域であれば良かったのですが、あまり遠くなると直線距離というのもあまり意味を持たなくなってきますので、そこがなかなか難しいということもあり、三陸道を使う方はインターの距離からの所要時間ということでざっくりになります比較をしているところになります。</p> <p>この結果、北方面の方、要は唐桑地域の方について現位置と旧市立病院で5分程度の差が出るということであります。唐桑地域の方は人口のボリュームで言いますと6,000人ぐらいだと思いますが、その方々はどちらかという現位置のほうが優位ではないかという結論になっているのだと思います。</p> <p>一方で、唐桑地域と本吉地域を除いた人口の方、4万6,000人ぐらいの人口の方々につきましては、今回、先ほどの補足資料の資料で説明をしたような分析の結果になっていると思います。こちらにつきましては、旧市立病院のほうが評価は高い、優位な結果となっています。</p> <p>アンケート調査におきましても、旧市立病院のほうが国道やバイパスから近いのでアクセスしやすいという意見が幾つかあったところです。アンケート調査での意見は若干、定性的なところもありますので、定量的に評価するために先ほどのようなメッシュ別のアクセス時間の分析をしたところであります。</p> <p>なので、若干逆転はしてしましますが、人口のボリュームの差で、やはり総合的に判断しますと旧市立病院の跡地のほうが評価は高くなるのではないかと考えます。</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的に評価するときには人口比で重み付けするのがいいと思います。</li> <li>本吉方面は気仙沼港 IC で時間が変わらないということなので、北方面、唐桑方面の方については差が出たということで、この方々の人口がおおよそ6,000人ということなので、その割合とそれ以外の方が、大半が今回の補足資料で説明された数値だと思います。</li> <li>評価は、前回と変わらず旧市立病院が優位になると思います。</li> <li>変動係数について、旧市立病院は少し大きく、ばらつきの面で不平等性が若干たかまるというデータになっているが、わずかな差であるとともに、標準偏差は小さいので、変動係数が少し大きいということをおさほど気にする必要はないのではないかと。（丸谷委員長）</li> <li>委員長意見に同意する。（吉田委員）</li> <li>インターからのアクセス時間と三陸道利用圏外のアクセス性を合わせてみると、評価は変わらず、旧市立病院が優位になるということでもよしいのではないかと。（吉田委員）</li> </ul>	
建設費や解体費・移転費等の抑制について	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主的な一般財源負担額の部分について、現位置の金額が下がった理由をご説明いただきたい。（丸谷委員長）</li> </ul>	<p>前回の資料で、概要欄の数字とコメント欄の数字に齟齬があり、コメント欄の数字が間違っていました。</p> <p>前回の説明の際は、概要欄のほうで説明をしましたので、説明としては、前回と同じ数字を入れたと捉えていただけたと思います。</p>

カテゴリ	No	意見等	市当局より
市全体のまちづくりを考慮した位置について	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>方針 3 の市全体のまちづくりを考慮した位置という件について、さらにご意見があれば、次回出させていただきたいという運営をしましたので、追加のご意見があればお願いしたい。 (丸谷委員長)</li> </ul>	—
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>市としても解体するまで、あるいは移動するまでには、まちづくりについて方向性を今後一緒になって考えていくという提案を出していけば、それぞれの段階で納得しなくても、だいたいが納得の方向にお互いに近づいていくのではないかと。</li> <li>今すぐはできないだろうが、移転するまでに、まちの関係者とどのようなまちづくりをしていくかという、何か提案を出していく方策がないのかということでお聞きしたい。 (遠藤委員)</li> </ul>	<p>まずは、移動するという前提に、我々が今提言をいただく前に片方のケースだけについて話すことはありません。</p> <p>いずれにしても、我々は、選ばれなかったところのその後の在り方というものについては、最大限、力を入れなくては行けないと考えています。もちろん選ばれたほうも市役所を建てればよいという話でもないとはいえませんが、正直言ってそれと同じぐらい選ばれなかったほうのまちづくりについてしっかりとした運びをしなくては行けないと思います。</p> <p>その中で、当然市として考えられるのはこういうことだと、住民の皆さん方、地域の皆さん方、さらには、どちらもまちとしては大事な場所ですから、地域を少し大きくして意見もいただきながらとりまとめていくことが必要だろうと思っています。</p> <p>いずれにしても、残念ながら建設までは7年間ぐらいかかりそうなので、そういう意味では十分な時間があるのかと思いますし、その方針のようなものが決まればそこが完全に建物が建つ前の段階から準備をしっかりとしていかななくてはならないと思います。そういう形で、方向性が決まれば新しいまちづくりに向けた様々な施策、または準備をしていくことになると思います。 (市長)</p>

カテゴリ	No	意見等	市当局より
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所があることによって、その周辺が中心市街地化するとは考えられない、必ずしも結び付かないと考える。</li> <li>・その例として、石巻市の事例がある。気仙沼市のこれからの考える際に、石巻市のあり方は参考になると思う。</li> <li>・現在、石巻市役所のある穀町や山下町や立町は、かつての賑わいは失っているように私には見えた。浸水水域になっているので、やはりこの点が人通りの少なくなっていた主たる要因かと私は見ている。</li> <li>・一方、海から5～6キロ離れた浸水被害が起きなかった蛇田、あけぼの地点に大体の大型店舗や人通りが集まっている。その理由として、例えば20代後半の女性および40代までの女性のいわゆる消費意欲の高い人たちにここが選ばれていることだと見ている。</li> <li>・石巻市の旧市街地は専門店化をしていて、特にたくさんいい店があると思う。専門店街化にシフトするという計画、構図というのは気仙沼を見た場合でも、そのようになるのではないか。</li> <li>・市役所がある、交通アクセスが優れているということは一定程度の集客能力はあったとしても極めて限定的なのではないか。 (小野寺(有)委員)</li> </ul>	—

■建設候補地案のまとめについて

カテゴリ	No	意見等	市当局より
建設候補地案のまとめについて	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終的な取りまとめについて、前回、個々の項目については優位、あるいは同等などという形になった。</li> <li>・どのぐらいの重要度を方針1~4が持っているかを確認させていただいた上で、方針3だけがかかなり突出して重要であるというお考えを市が持っているのか、方針3の部分だけで市の判断でひっくり返るというようなことがあるのか、市のお考え、方針3の位置付けや相対的な重要性というのを確認させていただきたい。</li> <li>・その上でこの委員会が3項目は優位で、方針の3番目の項目だけはあまり差が付かないということで、市にこれからの検討を委ねたけれども、総合評価としてどちらかを選ぶということの結論を出すか。それとも前回の議論で終わりにして、方針の1, 2, 4については旧市立病院が優位で、3番目については市のご判断にお任せするのかという件について、最終的にお諮りすることができる。</li> <li>・まちづくりの関係は、この委員会としての守備範囲を超えているということは動かない問題である。</li> <li>・各項目が平等であれば、委員会としては、旧市立病院と現位置が3.5対0.5なので、旧市立病院が第一候補であるというところまで踏み込んだ提言にするか、それとも、方針1・2・4の3項目については一応優劣を付けたけれども、方針3の項目については優劣を市にお任せするという形で止めるかということについて、委員一人ひとりにどちらがよろしいかお諮りをしたい。その上で委員会としての最終的な仕上げとして考えたいので確認したい。(丸谷委員長)</li> </ul>	—
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終的には会議の結論を出すべきだと思う。評価項目自体は市から与えられたわけではなく、この会議で決定してきた。</li> <li>・方針3のまちづくりについては、優劣付けがたいということが一つの結論かと思われる。</li> <li>・方針3についてはそういう結論として、それで最終的には4項目で総合評価をされるほうが、この会議としての役割を果たしたことになるのではないかと。(吉田委員)</li> </ul>	—

カテゴリ	No	意見等	市当局より
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回は建設候補地のまとめ方については終わっている話だと認識をしていて、それが今回、委員会として最終結論を出すのか出さないのかという話が出るこのほうが違和感はある。</li> <li>・ 優先順位の決め方すら決まっていない状況で、各評価項目の優先順位をどこに置くかという判断はかなり難しい。</li> <li>・ 論点は全部整理をしたのだから、あとは市の決断、決定ではないか。一点は進め方の問題、もう一点は決め方として結論を出すべきではない、出せないのではないかと思う。 (菅原委員)</li> </ul>	—
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回は少し時間が長くなって、まちづくりの部分でよく話し合えなかったという部分、と帰ってからどうだったろうかと考えた部分がある。</li> <li>・ 本吉地域としては、方針3のまちづくりよりは方針1・2のほうに重点を置いていた部分もあって、有識者会議で話し合われた内容を踏まえると、方針4つとも同じ重要度だと思っていた。</li> <li>・ 旧市立病院3.5と現位置0.5の比較であればある程度明確に出ている。</li> <li>・ 7回の会議を重ねてきて、結論として何も出さない、全部市に委ねるという状況で良いのかどうかということは、前回の会議後に帰ってから思った。</li> <li>・ 最終的には市で判断されるから、委員会としての意見は一つ出したほうが良いと考える。 (小野寺(克)委員)</li> </ul>	—
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回会議で1つに絞ったほうが良いと発言したが、その気持ちは変わらない。</li> <li>・ 跡地利用についてもセットでこの会議で何らかのアイデア等を一緒にお伝えできたらいい。 (春日委員)</li> </ul>	—

カテゴリ	No	意見等	市当局より
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針3の優先順位がどれぐらい高いのかというのはこの会議自体では分からないという結論だったという認識でいる。資料1の1ページにも書いてあるとおり、この会議の役割と能力を超えている。</li> <li>・単純に旧市立病院3.5対現位置0.5で1つのほうに絞るというよりは、結論が出せないという話で前回まとまったのではないかという認識でいる。</li> <li>・今のモビリティの体制、交通の体制で数分の差があるということと、今までのまちづくりに対してのそれぞれの地区の投資も含めて、もしくは市自体のビジョン、こういうまちを目指そうという中で、どういう位置付けになるのかというのが私たちはそれがまだ分からない中で、方針1の交通の便のような話と方針3のまちづくりの価値のようなどころはとてではないが比較できない。</li> <li>・自分たちで評価項目は決めて、そこに対して議論はしてきたとは思っているので、この項目と議論の過程を自分たちのアイデアとして出すというところ以上は行けないのではないか。 (加藤委員)</li> </ul>	—
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7回も長時間にわたって話し合いをしたので、一定程度の結論を出すというのは自然なこと。現時点ではここですという提言をする必要がある。 (小野寺(有)委員)</li> </ul>	—
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私も大体もう決まっていると思う。</li> <li>・決めたからいいということではなく、決まれば市が、それなりにまちづくりについて話し合われますので、そちらのほうをもっと重視して行ってほしい。そのためにも、早く結論付けて方向性を決めたいほうが良い。 (遠藤委員)</li> </ul>	—
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この4つの方針を並列に比べることが難しいというのは菅原委員などと同じ意見。</li> <li>・ただし、7回議論してきた中で他の3つの方針に関しては旧市立病院跡地が優位であるという事実は事実。</li> <li>・選ばれなかったほうに対するまちづくり提案をきちんと行うという条件であれば、この会議の責任として1箇所の手紙を示していくほうが良いのではないか。 (矢口委員)</li> </ul>	—
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで検討してきた経過を踏まえて、合意できる範囲で最終的に、表現ぶりというのはいろいろ考え得ると思うのですが、何らかの結果を客観的に書くことは十分可能ではないか。 (峯浦副委員長)</li> </ul>	—

カテゴリ	No	意見等	市当局より
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのぐらいの重要度を方針1・2・3・4が持っているか、方針3をもって、ひっくり返すというようなウエートであるかどうか、市に一応お伺いはしていきたい。 (丸谷委員長)</li> </ul>	<p>まず有識者会議でいろいろな議論をいただきまして、最初に3つの理念のようなものを立てていただいて、それを評価項目として大きく4項目にくくっていただきました。さらにはその中を細分化した項目もありました。</p> <p>本市としましては、どの項目が特別ほかの3つに勝って優位だという評価の項目とは捉えていません。どれも大事だと考えています。例えば、防災の面でどちらかに×が付くのが1個でもあればそれは1個で覆る力だと思いますが、それ以外につきましては考え方ということだと思いますので、絞っていただいた4項目はどれも重要だと捉えています。 (市長)</p>
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>方針4つがそれぞれ重要だということは、そのうち3つ評価すればいいということではなくて、1つでも欠けてはいけないということだろう。</li> <li>この会議としての一定の結論を提言として、市にお渡ししたい。 (吉田委員)</li> </ul>	—
	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>候補地選定有識者会議ではないと思っている。今まで議論をしてきた新庁舎の機能などを含め、もしくは理念のようなところも含めて出すわけなので、この会議の責任として候補地を1つに絞らなければいけないということはないのではないか。</li> <li>まちづくりに関しては、我々だけでは決め切れませんでした。それは市のビジョンやその後のことやこれまでのストーリーなども含めて決め切れなかったと明記することが、何で駄目というか、無責任なことなのか。 (加藤委員)</li> </ul>	—
	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>候補地を絞るのがここの委員会のメインの役割であるという認識を持っている。</li> <li>候補地を絞らなければそれでいいというわけではなく、絞らなかった理由もきちんと説明しなければいけない。</li> <li>この有識者会議のメインのミッションは、建設候補地決めることである、あともう一つのミッションは機能・性能であるという捉え方をしていたので、できるだけ絞ってあげないと、事業がどんどん遅れるだけになる。それは市の委任からすれば、できれば絞りたかったというのはあるかと思う。 (丸谷委員長)</li> </ul>	—



カテゴリ	No	意見等	市当局より
	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい市役所はどのような市役所であるべきかというのをきちんと考えるべき。</li> <li>・視点としてここに盛り込まれたものばかりではないと思う。行財政の改革の視点で職員数が今後人口減少に伴い、規模はもう少し小さくていいのではないかという話になりかねない。そうすると、評価として三角だったものが丸になったり、丸が二重丸になったりするのかもしれないですけれども、優劣が付かなくなってくる可能性もあるので、結論を出すまでにまだやらなければならないことがあったのではないかと思う。だが、この議論の流れを否定するものではない。</li> <li>・整理の仕方について、方針1・2・4は、旧市立病院の方が優位だろうが、3については、判断はつけられない。</li> <li>・この委員会として1つに絞ってこれだと堂々と言えるのだろうかというのはすごく微妙なのかと思う。 (菅原委員)</li> </ul>	—
	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菅原委員のご意見について賛同しかねる部分がある。規模を小さくできたとしても、場所は場所であり、アクセス等は変わらない。防災に関しても、庁舎規模を小さくして現位置に造った際に、庁舎の一部や駐車場も含めて要らないということまで考えない限り優劣は付いている。方針1と方針2の件については覆らない。ただ、お金の話はまた別なので、方針4は分からない。 (丸谷委員長)</li> </ul>	—
	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらが優位かということにこだわるのではなく、視点としてもう少し議論ができればよかったと思う。</li> <li>・委員長の言われたとおり、方針1・2の評価は変わらないだろうということであればそうかもしれないが、4番が変われば3番と4番は違う視点で考えて結論が変わる可能性もないとは言えないという意味でお話ししました。 (菅原委員)</li> </ul>	—

カテゴリ	No	意見等	市当局より
	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員長の案としますと、基本方針の4項目を立て、1項目、2項目、4項目目については明らかに病院が優位となった。3項目については、意見が分かれているという状況だが、総合判断すると1・2・4項目が優位だということをもって、まずは選定の第1候補としては旧市立病院だという形に追加をさせていただきたい。</li> <li>その場合に、現市役所の位置の跡地利用、周辺利用というようなものが十分できること、それで理解が得られるような計画がつけれるというようなことを一つの付帯的な条件となる。</li> <li>つまり、方針1・2・4をもって病院にするが、付帯的な意見、前提条件としては現位置の再利用や、あるいは市役所の位置の内湾との連携のようなことを重視し、しっかりとした計画をつくるというような案で取り纏めたいと考えるがいかがか。 (丸谷委員長)</li> </ul>	—
	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員長案に賛成。 (春日委員)</li> </ul>	—
	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの方針については、都市計画マスタープランに書かれた基本方針を変えることなく、それに見合うものと考えていただきたい。 (吉田委員)</li> </ul>	<p>例えば、旧市立病院のほうを候補地として、こちらの新たなまちづくりを考えるとということになれば、そのことは都市計画マスタープランを基本としつつも、相当もつと踏み込んでやっていくことになるのだらうと思いますし、これができた段階に比べて、内湾地区のまちづくりも進んでいますので、そういうことも加味したことで議論を進めることになるのかと思います。</p> <p>気仙沼駅からのエリアも含めてこれまで中心市街地と言ってきたところがありますので、今盛んにまちづくりをしてみんなの思いが新たに入った内湾との関連性というのは非常に大事であります、かといってここから西側のことを考えなくていいということではないのではないかと思いますし、この都市計画マスタープランにおける中央地域もその部分も面積としては入っている状況です。 (市長)</p>
	21	一同：異議なし	—

カテゴリ	No	意見等	市当局より
議長まとめ	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回は、方針 1・2・4 の項目については病院が優位。方針 3 については、どちらが優位か判断は分かれており、市が考える今後の計画等についても明確にできないということだったので、判断ができないということを示し上げた。</li> <li>・ 方針 1～4 の項目について、有識者会議としても 4 つの方針は、それぞれ重要であるということ考えているが（それぞれ重要であるという市の考えを踏まえると）、結果として、1・2・4 は旧市立病院跡地が優位で、3 は差がつかないということをもって、この委員会としては、1・2・4 をもって病院が建設候補地として妥当だと考える。</li> <li>・ ただし、今の市役所の跡地、周辺の計画、内湾との関係、市全体との関係を踏まえて、今後しっかりとした計画をつくって対応していただくことを条件として提案する。 (丸谷委員長)</li> </ul>	—

(3) 新庁舎の機能・性能について

カテゴリ	No	意見等	市当局より
庁舎の規模について	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>概算総事業費算出の後に規模算定に対して見直し作業などはなされたか。(矢口委員)</li> </ul>	<p>第3回でお示ししている規模につきましては、国の基準、他市町の事例というのを含めて整理して数字を出していますので、修正はしていません。</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口が減ってくるとそんなに大きい庁舎も要らないということや、完成して全員が一遍に移る必要があるのかという話も出てくる。少し長い時間軸をきちんと見て計画してもらいたい。</li> <li>アンケートでも次の世代にあまり負担にならないようなという回答があったと思うので、それに対するきちんとした考慮をお願いしたい。(矢口委員)</li> </ul>	<p>いただいたご意見については、今後検討し、委員長にもお示しして直したいと思います。一方、今の矢口委員と菅原委員のお話に少し関わるのですけれども、これまで出してきた資料の中でこういうところがあります。現在の市役所というのは、例えば資料2の「観光等の情報コーナー（長崎県庁／長崎県）」「市民が集えるスペース（須賀川市役所／福島県）」「安心して遊べるキッズスペース（下野市役所／栃木県）」のようなスペースがまるでない市役所なのです。</p> <p>それに対して、気仙沼市だけではなく、われわれも職員を派遣してもらっています町田市に行くとはほとんど1階は何もないような、ユーティリティースペースのようになっているのですけれども、そういう意味で、600平米だっと思えますけれども、このようなところを一旦取ると。そして、やがてICT化かつ人口も減っていった空きスペースが出てくるはずなので、そういう部分をもっと活用していきましょうという意味合いがこれまでの資料にはあります。そういうことを踏まえ、一方でお金のほうは面積に関わらず将来負担になっていきますので、そのことも研究していくということで考えたいと思います。</p> <p>そういうユーティリティースペースのようなものが要る、要らないということは、本来もっと議論になるのか分かりませんが、災害のことなどを考えたときに、また市役所にはICTを使うことによってあまり人が来なくなるのだけれども、一方で来たときにくつろぎの空間や市民がこの場所に来たいと思うような場所であるという2つ相反したようなことが今どちらも求められているのではないかと感じていますので、できればそういうことも頭に入れながら書き直しをさせていただきたいと思います。</p> <p>(市長)</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料2『庁舎の機能・性能』の2ページ目、一番右下この3行の部分については、もう少し広くいろいろな要素を拾っていただくと。特に将来世代などというキーワードは、ぜひ拾っていただきたいというように修正意見がありますので、事務局で対応してください。(丸谷委員長)</li> </ul>	—

カテゴリ	No	意見等	市当局より
庁舎の機能・性能について	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提言の中の位置付けなのですけれども、先程の提言の件については、本日の資料1の取り纏めの部分を少し修正するような形のA4の紙が1枚あって、その詳細の評価はこちらですということになるかと思うのです。</li> <li>・表現は、目指します、設計します、採用しますなど書いてあるのは、市のお考えという形でまとめていただいているので、市の考え方について、我々ができればこういう別添のご案内として機能・性能面については、妥当ですと書くのか、あるいはもうちょっと頑張りなさいと書くやり方もある。</li> <li>・市とすると、もうちょっと頑張ってもらいたいということであれば、本日の段階ではここに具体的に突っ込んでいただいたほうが良さそうなので、例えば市の方針の部分にもう少し追記が必要な項目があるならば、載せていただいた上で、できれば全体として妥当だというようなことで整理したほうがいいたろう。</li> <li>・一言で言えば、これを妥当ですという1枚の紙を付けないと資料の内容の語尾が不適切なのです。提案とすることがふさわしいと思います、のように書かなければいけないのですが、そういう形にはなっていない資料なので、そういう整理で皆さま方各自に精査いただきまして、不足のところ、問題があるようなところをご指摘いただくというご審議をお願いしたい。</li> <li>・事務局とすれば、市としてこのような案をお示しして、このような考え方でいるということについて、我々委員がその考え方が妥当ですというのをこの紙の上に貼って、それで提言にするというようなイメージでよろしいのでしょうか。 (丸谷委員長)</li> </ul>	<p>委員会において、審議いただく内容としては、本資料の記述の妥当性と意見をいただいた分は追加していきたいと思います。</p>

カテゴリ	No	意見等	市当局より
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お金を掛けないで壊しやすいようにという配慮という意味で、減築できるように少し工夫していただくということも必要。</li> <li>• 旧市立病院は、高校が近いということで学習室を考えていただきたい。</li> <li>• 旧市立病院は眺望が非常に良いので、例えば会議室なども少し市街地が見えるようなところに造っていただいて、気仙沼に来たお客さんに会議をしながら見ていただけるような配慮などもデザインの段階ではお願いしたい。</li> <li>• 人口が減ったときに元気のもとになるのは、やはり市民の交流だと思う。皆がきて何か話をする事ができるような場所を充実させていただきたい。 (吉田委員)</li> </ul>	
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2ページ目の最後のところ、建設敷地が不確定な現時点の目標というのがありますが、これは削除いただき、敷地については今回結論が出たことを前提に、確定ではありませんけれども、条件が付いています。</li> <li>• ただ、そちらを前提にご議論したという形にさせていただいて、今おっしゃっていただいたような眺望の良さを十分生かしたような会議室設定のようなご意見も出ていますので、それをぜひ、推進していただきたい (丸谷委員長)</li> </ul>	<p>今の吉田委員さんのことを書き込むとすれば、併せて視界がいいというところで、市役所として大事なのは実は防災関係の部屋です。防災関係の部屋については外が見えるところが会議をする中でものすごく大事なことだと思いました。</p> <p>やはり海や市街地が見えるところに建てるのであれば、そういうプレゼン的なこともありますけれども、防災のほうも関わるのだと思いましたので、書くとなればそこも入れたいと思います。 (市長)</p>
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 案内モニターについて、黒地に赤字で字が書かれると赤緑色弱の方には、その字がよく読み取れないので、赤字ではなくて黄色などにしていただければ判別しやすい。また、災害のときも観光で来た方が市役所に一時的に避難した場合、障害をお持ちの方でも、一目で今の情報が分かるのではないかと思いますので、ぜひ実現していただきたい。</li> <li>• 市民が集えるスペースの床の材質について、須賀川市役所は、直接何も敷かなくても寒さを感じないということを知っている。そういった素材を使っていただきたい。</li> <li>• 本資料の書き方はこのままで構わない。 (春日委員)</li> </ul>	<p>今いただきましたご意見につきまして、今後基本計画という部分、基本計画、設計、実設計、建築という部分まで進んでいきますので、その中でしっかりと、やる、やれないも含めて判断してやっていきたいと思っています。</p>

カテゴリ	No	意見等	市当局より
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先日、旧市立病院の屋上に視察に行ったときにも海まで見えましたし、市内もかなり見渡せる状態だったので、展望室のような普段は市民の方が上がれるような、災害時には全体を見渡せるような場所として造っていただけると有効に使えると思う。</li> <li>・駐車場から庁舎に入るのに玄関が1カ所だけだと、例えば駐車場の遠くに止めてしまうと入るのが大変になる。正面玄関の他に左右から入れるような動線を考慮していただきたい。</li> <li>・業者の搬入口など、大型トラックが来たときに止める場所、搬入用のエレベーターなども考慮していただきたい。</li> <li>・電球やカーテン、ブラインドなどの交換がしやすいような設計をしていただきたい。</li> <li>・以上の内容は議事録に残っていれば良い。 (小野寺(克)委員)</li> </ul>	
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針4の環境にやさしくということも充実させていただきたい。</li> <li>・市民の利便性も大事だが、例えば高校生に出しても恥ずかしくないような理念や共感できる哲学のようなものもすごく大事。</li> <li>・基本方針5の(2)進化するICT機能への対応についても、充実した文言にできると良い。</li> <li>・例えば、テレビ会議という言葉は多分使っていないだろう。 (加藤委員)</li> </ul>	<p>将来的な人口に比例して、職員の数もまたそれ以上にICTの利用によって減ってくるのだらうと思います。そのまま同じように、正比例して面積が減っていいのかという思いが少しだけあります。減るのは減っていいのですが。</p> <p>というのは、現在の全国の役所の職場環境について、われわれがこの頃訪問した新しいビルや、働き方が非常に自由な会社のスペースなどを踏まえて考えると、市役所に限らず国に行っても全くそうなのですけれども、ある意味劣悪な状況で働いているということもあります。そのことも含めて減らせるところは減らすにしても、一方で働き方ということも考慮に入れなくてはいけないと思っています。</p>
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気仙沼市の庁舎はこれで造っているのだというような一つの理念が必要。それが防災だと良い。</li> <li>・複数の連絡系統網を持っているということが大事。特に学校における情報の寸断というのは致命的でさえあると言えるので、各学校への複数および3つぐらいの連絡媒体をぜひ確立していただきたい。 (小野寺(有)委員)</li> </ul>	<p>この頃、IT系の企業に行くことも多くてなおさらそのように感じているところですが、技術というものがいろいろなことを解決してくれるのではないかと思います。本日、いろいろな意見をいただきましたので、直すところを直して議事録に残すところは残して、基本計画の段階でさらに最先端の考え方、知見が進められればと思います。</p>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信手段の件については、市と重要な公共的な機関であったり、学校であったりの通信手段が確保できるような設備というような書き方で、それについてもご検討いただくような追記というのはあまり問題なくできるかと思いますし、必要だと思えます。</li> <li>・現在の資料に直接的な記述はないようですので、おそらく災害対策本部の機能などに加えて多様な通信手段が活用できるような、それから重要な施設、学校などと連絡が取りやすくするような設備を整えるという柱を立てていただければ問題ないかと思います。 (丸谷委員長)</li> </ul>	

カテゴリ	No	意見等	市当局より
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築の世界ではこの建物は認められた省エネビル，グリーンビルディングなのだというを示す証として幾つかの認証の仕組みがある。</li> <li>・例えば，LEED のような認証を目指すことを考えてみるというのもあるかと思う。 (吉田委員)</li> </ul>	
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉田委員からご提案いただきましたので，議事録に残すように，事務局の対応をお願いします。 (丸谷委員長)</li> </ul>	
	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の積算をもう少し詰めていただきたい。数年先というか10年ぐらい先ぐらいはある程度これまでの事業の推移があるので，そこはそれなりに見込めるかと思う。職員数をしっかりと見積もった上で面積をきちっと積算したほうが良いかと思う。</li> <li>・気仙沼のほうではスローシティや，今もプラごみゼロ，そういった環境に対する取り組みは「気仙沼らしさ」のうちの一つだと思う。</li> <li>・鳥栖市役所の窓口がとてもわかりやすかったので，もし興味があれば見ていただきたい。 (峯浦副委員長)</li> </ul>	
	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面積の件について十分考えるとともに，将来的に余剰になった場合も，それが対応できるような趣旨のことももし可能でしたら留意事項のところに少し盛り込んでいただければと思います。 (丸谷委員長)</li> </ul>	
議長まとめ	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員の意見が分かれるということはありませんでしたので，この内容で修正をしていただいたものを，各委員にご確認いただくことで，もう一回会議を開いて整理ということまでは必要ないと思う。</li> <li>・事務局としては，資料を修正して各委員へ送付・説明していただけるようなことで良いか。 (丸谷委員長)</li> </ul>	<p>本日いただきましたご意見を踏まえて，修正をしたものをできるだけ早く委員の皆さまに案内したいと思っています。</p>



(4) 事業手法について

カテゴリ	No	意見等	市当局より
事業手法について	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>有識者会議で発注方式を決めるということではなく、いわゆる従来型の個々に入札をしていくというのを積み重ねる方法以外も幅広く検討すべきだということについて、提言に盛り込んでよろしいかという意味でご審議をお願いしたい。 (丸谷委員長)</li> </ul>	—
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業手法については、提言に盛り込むことではなく、広く考えていただきたいという提言をすることで同感。</li> <li>事業の進め方については、巨額な公共事業であることから、できるだけ地域にお金をとどめて回していただきたい。</li> <li>大きな公共投資を地域の活性化のために活かせるよう配慮いただきたい。 (吉田委員)</li> </ul>	<p>気仙沼市で行っている大規模な事業につきましてはJV方式などを採ってやっていますので、その中で今お話あったことはできるのかと思います。ただ、書くに当たっては、制度や発注ルールについてチェックをさせていただいて、そのような可能性もぜひ取り入れたいということは当然考えていかなければならないと思います。</p>
議長まとめ	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業手法と併せて吉田委員のご提案について、制度の許される範囲内で検討するという程度にしておかないと、後で動けなくなったりするといけないので、市のほうで工夫をしていただきたい。 (丸谷委員長)</li> </ul>	—

(5) その他

- ・ 提言書の提出は、令和元年12月26日(木)を予定。
- ・ 提言書の進め方については、本日ご審議いただいた内容とこれまでの議論を含めて、委員長、副委員長と相談しながら提言書を取りまとめ、各委員に提示し内容を確認していただくという流れとすることで了承を得た。
- ・ 提言書提出の当日の対応については、有識者会議を代表して委員長、副委員長が行うことで、了承を得た。
- ・ 第8回有識者会議は、令和2年2月に開催予定。

(17:25 閉会)